



NPO 法人
とちぎユースサポーターズネットワーク

2019

2019.04-2020.03

Annual Report

「プログラム開発運営モデル」を

「地域拠点 áret を据えた挑戦する若者の地域展開モデル」へ

新しく若い仲間の合流があり、プログラムのコーディネートや管理運営業務も前年よりも分厚く実施することができ、提供者数また決算共に微増となった 2019 年度。またより地域に密着した若者の活動展開を支えられるように地域拠点 áret へ事務所を移転した。光琳寺住職井上広法氏との共同運営となる新拠点 áret でプログラムを実施できるようになり、参加者と拠点の関係性を積みあげていくことができ、プログラムの効果や連動、参加者の定着がしやすくなった。当初描いていた「挑戦者が日常的に集い、関わり合える環境」の実現に向けて、素晴らしい環境が整った。

次年度については引き続きより一層挑戦人材への認知拡大を行う。若者の力を必要としている声の集約と、若者の活躍機会となるプログラム開発を、エリアに密

着した形で実施していく。若者が力をつけただけでなく、地域社会に一人でも多くの笑顔を増やしていく貢献を成果とできるように、事業支援を踏まえた地域コーディネート業務の質の向上も目指すべきところである。さらに県内の教育機関・行政、そして若者との密な関わりが広がっている強み活かし、県内各地に若者の力を届けていける体制や仕組みの整備も必要である。

一方で、コロナウイルスの影響により交流や外出の自粛など、当たり前のように直接人と関わり合える環境を見通し、人と人が「関わり合う価値」の再定義と発信、同時に、安定した事業運営にむけてはオンラインや WEB を活用したコーディネートやプログラム提供の開発など、新しい社会の形に求められる新たな事業の枠組みも考えていく。

代表理事 岩井俊宗

代表理事

岩井俊宗



栃木県宇都宮市出身。2005 年宇都宮大学国際学部卒業後、ボランティアコーディネーターとして宇都宮市民活動サポートセンターに入職。NPO・ボランティア支援、個別 SOS に従事。2008 年より若者の成長機会創出と社会課題の解決に向けて持続的に取り組む人材を輩出し、若者による社会づくりの加速を目的に、当会を設立。2010 年 NPO 法人化。代表理事を務める。2 児のパパ。

プログラムコーディネーター

石川慎太郎



幼少期よりコンピューターや絵に触れて育つ。東京の IT 企業で企画・マーケティングとして従事。東日本大震災をきっかけに地域の先進的な活動に触れ、その支援を志して起業。「つばめソリューション」代表として、IT とデザインで地域の活動を応援している。20 カ国を旅したジェットコースターマニア。

プログラムコーディネーター

青柳沙織



千葉県千葉市出身。4 年前に引っ越して来た。二児の母。ごく普通の学生生活を経て、ごく普通の会社員生活を 10 年間経験。結婚しても、出産しても、変わらずにやりたいことをやらせてもらい家族にはとても感謝している。特技は、掃除。

- STAFF -

理事・事務局長

古河大輔



栃木県小山市出身。仙台、名古屋、南米ボリビアと各地を転々とした後、地元へ。立ち上げ期から参画し、地域の課題解決と挑戦する若者たちの生態系づくりに取り組む日々。複数のチームで、仲間たちと地域に必要なことや地域を楽しむことをあれこれと企んでいる。その他、一般社団法人カゼトツチ 代表理事など。

プログラムコーディネーター

門間大輝



宮城県石巻市出身。東日本大震災の経験から、福祉を学びたいと考え栃木県の大学へ進学。その後は介護施設を経て、インターンやボランティアを経験したことをきっかけに当時の仲間と立ち上げた団体『一般社団法人えんが』に所属。地域の高齢者の孤立の予防と解消を目指す活動をしている。ガジェットとクラフトビールが好き。

プログラムコーディネーター

正木健



宇都宮市出身。カナダの大学に進学してグローバルな環境で勉強に明け暮れる中、ローカルに目覚める。東京と栃木の二拠点生活しながら様々なプロジェクトに参画する際に、理事の古河に声をかけてもらい「地方でポジティブなエネルギーのある若者が活躍できる場をつくりたい」という想いから 2019 年にジョイン。

- OUR MAP -

これまで核として取り組んできた、若者による社会を良くするスタートアッププログラム「iDEA▶NEXT」(P.07) や実践型インターンシップ「GENBA CHALLENGE」(P.08) などを通して育んだプレイヤーたちとともに、栃木県全体の課題解決を加速させています。

輩出した数

54 人 / 組

インターンシッププログラム
および iDEA▶NEXT ファイナリスト

那須塩原市

○高校生コミュニティ Your Dream (小林 龍威 2018)

さくら市

○まんまとちぎ (NPO 法人ボン・テ) (大河原 千晶 2018)
○キッズクレド (田中崇子 2014)

市貝町

○Project SSB (長野 大輔 2014)

大田原市

○一般社団法人えんが (濱野 将行 2014)
○農と共に (阿久津 清尚 2019)

那須烏山市

○ユース 2000 (なすから暮らし復興支援センター 2019)
○Active Citezen Platform (渡邊 貴也 2014)

高根沢町

○maiMachi (代表 河合 明子 他 3 名 2016)
○高根沢に新しい風を吹き込む「場」を生みだす (佐々木 将志 2019)

鹿沼市

○一般社団法人コブル (中尾 真人 2016)
○合同会社 Crew (伊川 夢起 2014)

栃木市

○デモクラティックスクール・つながるひろば (宇賀神 雄太 2015)



宇都宮市

○TOCHIGI MOVIE (川崎みさ旗 2019)
○社会問題を解決するカフェ Diva (ダー春花サラ 2019)
○Satokko (毛利颯汰 2019)
○株式会社アグクル (小泉泰英 2018)
○新聞ちぎり絵サークル (館野智子 2018)
○学生プレゼンコンテスト (高橋利久 2018)
○Tochigi unique wedding (山口絵美 2017)
○Ballon HEROS (斎藤宏 2017)
○精神障がい者の食生活支援 (間庭昭雄 2017)
○宇大生シェア化計画 (代表 飯ヶ浜綾乃 他 2 名 2017)
○スタディカフェ (木津英美里 2017)
○NPO 法人キーデザイン (土橋優平 2016)
○トチギええじゃないか (栗野倫也 2016)
○ガーデンヘルプかぐみえん (小林かぐみ 2015)
○ことのは教室 (内藤さつき 2015)
○レクスタ (加藤祐貴 2015)
○ユース 500 (かめま市生活復興センター 2015)
○宇都宮カクテル college (大館仁志・新妻星也 2013)

(敬称略)

※掲載団体は、主に iDEA▶NEXT のファイナリストで、実際に活動を行った方々を中心に掲載しています。

※団体 / 会社名、もしくはプロジェクト名となっています。

OUR GOAL

『地域 × 若者 = 栃木の新しい物語』

NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワークは、栃木県をフィールドに活動する団体です。諸先輩たちから脈々と受け継いできた私たちの暮らす地域では、様々な問題が表出し、多くの課題が生まれています。この社会が生み出した課題は、私自身が解決できると信じ、2008 年の団体立ち上げ当初から、「ひとを育み、地域をつくる」ことを事業の核とし、様々な人々と一緒に挑戦しています。

OUR CONCEPT

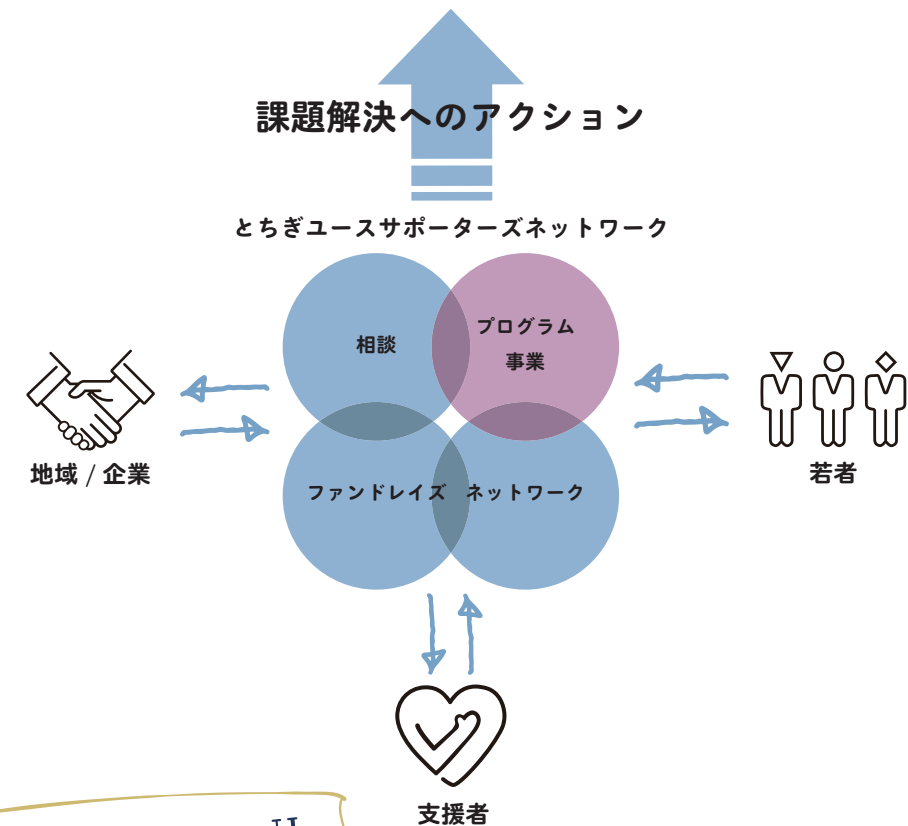
- 現場** 若者と社会を創る実践者や地域の課題とのリアルな接点
- 役割** 必要とされ、主体的に関われるフィールドの創出
- 仲間** 若者のチャレンジを支えあうソーシャルキャピタル

若い人材がチャレンジできる生態系と環境を育み、ひとや地域とのつながりをつくる
「地域のコーディネーター」として、活動します



OUR MISSION

若者の力を活かして、
地域の課題解決 / 活性化を加速させる



OUR APPROACH



- OUR HISTORY -

地域コーディネート

エリアマネジメント
創業プロデュース事業 (2019 ~)

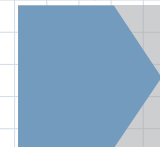
地域コーディネート

関係人口創出

はじまりのローカルコンパス (2015 ~), ローカルスタディキャンプ in とちぎ (2015)
とちぎ U ターン対策事業「Jimoto tochigi」(2018 ~), しもつけクエスト (2019 ~)



事業支援

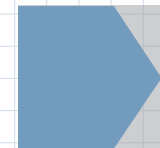


「若者 × 災害支援」

東日本大震災復興支援事業 手仕事プロジェクト FukuFuku(2012 ~), 2015 年関東豪雨水害支援「ユース 500」(2015)
2019 年関東豪雨災害支援「ユース 2000」(2019)



事業支援



ソーシャルビジネス創業支援

起業留学、ソーシャルビジネスセミナー / 留学 (2014 年 ~), ローカルベンチャー育成事業 (那須烏山市地域おこし協力隊サポート) (2016 ~ 2019)
課題解決型創業補助金採択者伴走支援 (2019 ~)

事業支援

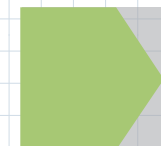


組織力強化

NPO マネジメント強化プログラム (2011 ~ 2012), とちぎ県民協働フェスタ (2013 ~ 2014), 地域づくりスキルアップ講座 (2015 ~)
市民シティプロモーション支援事業 (2016, 2017), 宇大未来塾「次世代経営マネジメントプログラム」(2018 ~)

次世代経営
マネジメント
プログラム

人材育成



地域人材育成・キャリア形成支援

実践型インターンシップ (GENBA CHALLENGE(2011 ~), iDEA→NEXT(2012 ~), 働く人図鑑 (2013 ~ 2014)
宇都宮大学課題発見解決型インターンシップ (2013 ~), Work trip(2014), 起業の実践と理論 (2015 ~ 2019)
地域づくりチャレンジ 3days(2017 ~), 宇大未来塾「とちぎ志士プログラム」(2017 ~)
ミライキャンパス (2017 ~), 宇都宮大学「対話と思考の場」(2018, 2019)



人材育成



若者の社会的孤立支援

とちぎユースワークカレッジ事業,
中退予防プラットフォーム事業



	2010/04	2011/04	2012/04	2013/04	2014/04	2015/04	2016/04	2017/04	2018/04	2019/04	2020/04
社会的動向	東日本大震災 (3 月)				2020 東京オリン ピック決定 (9 月)	消費税 8%(4 月)	関東・東北豪雨水害 (9 月)			令和開始 (5 月) 消費税 10%(10 月) 関東豪雨災害 (10 月)	
時代の キーワード	「CSV (Creating Shared Value)」 提唱	「新しい公共」			「地方創生」		「SDGs」	「学習指導要領改訂」	「人生 100 年時代」		「働き方改革」
ユースの 歩み		ホームページ開設 Facebook 開始	他団体と共同オフィス		SOZO 開設		独立オフィス (松島ビル 2F) LINE@開始	ユース行動指針 策定導入	第 1 回「創業機運醸成 賞」受賞 (中小企業庁)	第 1 回「次世代の力大 賞奨励賞」受賞 (下野新聞社) ボランティア賞 (ソロプチミスト宇都宮)	aret 開設 事務所移転 グッドデザイン賞 「とみくらみんなのリビング」
インターン生	森雄史		菊地雄太、小野寺真里 高橋秀哉、逸見栞	渡邊貴也	土橋優平			吉井渚、渡辺明里 門間大輝、高橋伸明		小林千恵 中里明利 石崎舜也	皆川美咲 森谷真依 

フェーズ 1 : 若者と共に現場へ

フェーズ 2 : 地域人材育成と掘り起こし期

フェーズ 3 : 地域人材育成から「若者 × 現場 (組織・課題)」コーディネートへ

フェーズ 4 : コミュニティをリアルエリアへ

- 事業紹介 -



iDEA▶NEXT

「地域の困りごとを何とかしたい!」「もっと地域を盛り上げたい!」という未来に繋がるアイデアを持った若者を育むプログラムです。アイデアを持った若者と、課題の解決を目指す地域の組織・企業との輪を広げ、ワクワクする新たな地域を生み出します。

Challenge!

活動開始

それぞれの現場で次のステップへと進む!
社会にハッピーを生み出す若者が地域へ!

最終審査

半年間にわたる準備や取り組みの成果と未来のプランを地域の方々に発表する。そこでアイデアの協力者や応援者を募る。

ブラッシュアップ期間

1

アイデアブラッシュアップ

エントリー者自身のアイデアを磨いていく研修機会を実施。オンラインの個人面談やブラッシュアップを行った。以降、先輩メンターから指導を受けながらアイデアを練り上げる1泊2日の合宿や、ソーシャルビジネスセミナー、フィールドワークを計画していたが新型コロナウイルスの影響の為延期。

2

実践的仮説検証

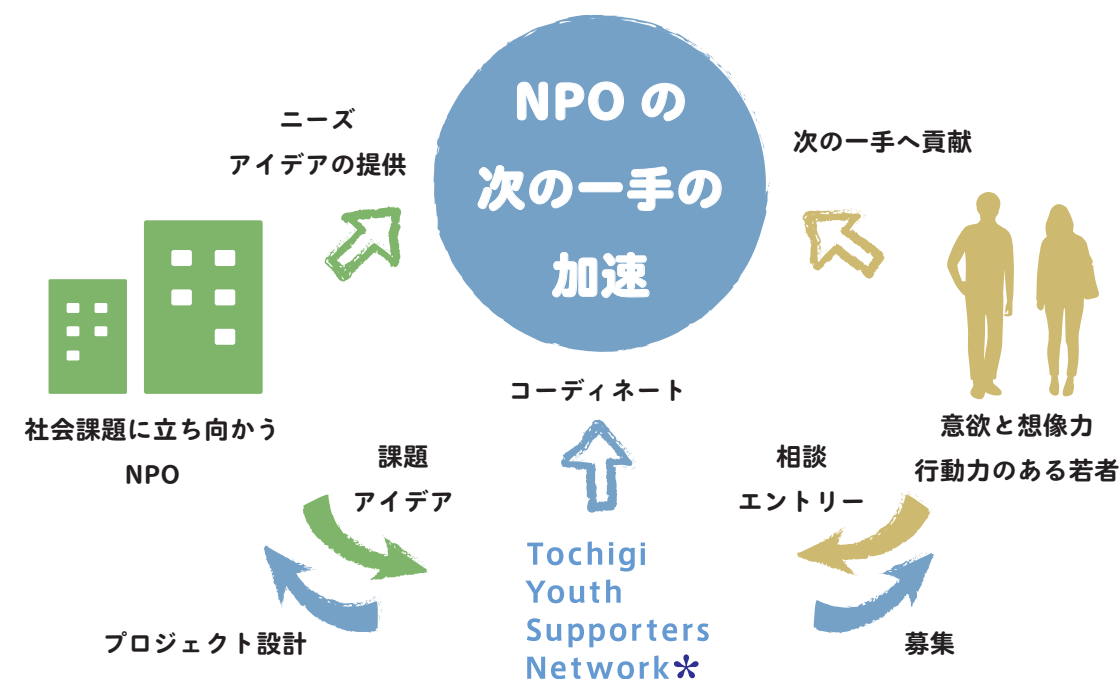
1次審査を経て選ばれたファイナリストは、適宜相談できる指導者がサポートしながら、お店のプレオープンやイベントの開催、商品の試作品づくりなど、アイデアを小さく実践して確認し、実用性の高いものへしていく。また、プレゼン本番へ向けての準備や練習を行う。

アイデア募集・関連プログラム期間

自身が解決したい社会課題への想いやアイデアを持つ方を対象として、先駆者を講師とした事例紹介企画の作り方のほか、自身のアイデアをブラッシュアップできる等、ワークショップ形式を取り入れた主体的にアイデアをカタチにする短期プログラム。



実践型インターンシップ-GENBA CHALLENGE-



- 参加者の声 -

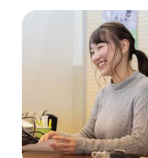
今回、初めて大学生を受け入れさせてもらって思ったことは、就職を控えている学生なのかインターン生自身のモチベーションの高さなのか企業側としてとても価値あるインターンだと感じました。教育現場、特に小中学校のICTサポートをしている当社としては、文部科学省が取り組む「学校における働き方改革」の趣旨を理解の元、少しでも先生方の負担軽減になるよう新たなサービス開発の一員になって頂ければと思い参加して頂きました。いろいろと協議をすることにより当初目的としていたことではなく、全く別な自社PR、自社サービスの動画作成になりました。インターン生には当社の主なサービスの提案書やチラシ等を調査・分析してもらい、改めて不明な文言、わかりづらい点など第三者としての意見を頂き、内容を見直す良い機会になりました。インターンシップ期間としては約2ヶ月と短い期間でしたが、インターン生の意欲を感じ取ることができ、企業側にとってもやりがいがありとても楽しかったです。今後、ここで感じたことや経験したことがインターン生の人生に少しでもお役にできれば幸いです。最後に、このような機会を頂きましたとちぎユースサポーターズネットワーク様に感謝することと、インターン生のご活躍を祈念致します。

株式会社スキット 代表取締役社長
長谷川真也



自分がそれまで触れてこなかった「教育」という分野でインターンシップに参加することは、自分の問題意識であった「働き方」に対して新たな視点で考えることができ、また地域で活躍する会社とは如何なるものなのかを学ぶことができました。スキットが提供するサービスの見直しを行う作業では、会社の中という環境に身を置きつつ外からの視点で事象を考えると非常に貴重で面白い経験をし、客観的に事象を捉える訓練ができたと思っています。また当初計画されていたインターンシップの内容から次々と変更されていくなかで、仕事のスピード感を感じられたことも大きな収穫の一つです。地域への貢献を熱く考え行動している会社でインターンシップを行えたことは、今後の自分のキャリアデザインを設計するうえで軸となる部分を得ることができました。

宇都宮大学国際学部 4年
高橋志織



とちぎ地域づくり担い手

(学生 × 地域づくり実践事例発表会／地域づくりチャレンジ 3days ／事例に学ぶ！地域づくりスキルアップ講座)

新たな地域づくりの担い手を掘り起こし、育む。実際に地域づくり活動を実践する人は限られ、興味・関心があっても容易に一步を踏み出す環境が整っていない現状に対して、次世代を担う地域づくり人材の掘り起こし、興味・関心・アイデアの醸成、地域づくりの担い手の育成を目的に、実践事例発表、座学研修と現場での実践体験プログラム。

※栃木県地域振興課受託事業



ミライキャンパス



大学生や高校生が自身のキャリアや、自分たちが暮らす地域について考える機会の創出を目的に学生主体に企画から運営までを実施。初年度は当会が主導だったが、徐々に移行して「ミライキャンパス実行委員」として自立した組織になった。活動的な学生や地域の大人などをゲストとして呼んだり、商店街や川沿いのフィールドワークの実施によって、地域との接点づくりを行った。現在も継続して活動中。

宇大未来塾とちぎ志士プログラム／次世代経営マネジメントプログラム

不透明で不確実な未来に対して挑戦し (Challenge)、自らも変わりながら (Change)、自身の幸せはもとより地域社会の発展に貢献する (Contribution)、3C 精神を備えた若き“とちぎの志士”とその人的ネットワークを育む「とちぎ志士プログラム」と、変革期における経営の在り方、思考、技術を学ぶ「次世代経営マネジメントプログラム」を実施。

※宇都宮大学受託事業



起業と実際の理論／栃木の魅力的な経営者達から学ぶ起業家精神養成講座



起業風土の醸成と将来の地域経済を牽引するアントレプレナーシップ（企業家として在り方）にあふれる人材を育てることを目的に、大学生などの若者を対象とする講座を行っている。授業では、受講生がビジネスプランの発表を行っているが、授業終了後には、実際に会社を興した学生、起業研究会のサークルを立ち上げた学生、実践型インターンシップや iDEA→NEXT へと参加する学生など、具体的なアクションに展開させている受講生も多数生まれている。

※宇都宮市産業政策課受託事業

ローカルベンチャー育成事業

地域おこし協力隊制度を導入した那須烏山市において、地域課題を分析し、課題解決のためのビジネスを展開しながら地域に定着するためのスキルやネットワークを構築する研修や相談対応を 2016 年度より実施。3 名の隊員が任期を終え、移動販売事業で起業するなど地域に密着した活動を継続している。

※那須烏山市まちづくり課受託事業



はじまりのローカル コンパス



「あなたの暮らしにローカルを 10 % プラスする」をコンセプトに、都市部に住みながら地方と関わりをつくるプログラムやコミュニティづくりを行う。東京圏在住の若者と、栃木県で活躍する地域のプレイヤーやプロジェクトを継続的・有機的に結びつけることで、栃木県の地域づくりに関わるファン（関係人口）を創出する取り組み。今年度は、自主事業として益子町（那須烏山市はコロナの影響で延期）と連携して実施。

※益子町企画課、那須烏山市まちづくり課受託事業

Jimoto TOCHIGI

栃木県へのリターンに興味関心がある東京圏在住の栃木県出身者が会えるコミュニティ。とちぎのたくさんの「ひと・もの・こと」に出会い、暮らしや仕事をしながら、東京からとちぎを盛り上げる活動を実施。学生向けイベント「ジモトチゼミ」と出身者向けイベント「JIMOTO TOCHIGI FES」の開催、そして今年度から LINE 公式アカウントを活用してイベントや就職フェアなどを発信している「ジモトチタイムズ」を毎月発行中。

※栃木県地域振興課学活事業



下野市関係人口創出事業「しもつけクエスト」



主体的にまちに関わる人たちを増やし、「下野市の力になりたい」「地域に関わりたい」という思いを受け止め、コーディネートする中間支援組織の構築を図るプロジェクト。初年度は、地域活動をはじめる最初の 1 歩を応援するセミナーを開催。活動希望者や実践者が出会う場になった。地域コーディネーター養成講座を実施予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大のため延期。

※下野市総合政策課受託事業

- 応援者の声 -



「温かい家庭のような存在」
宇都宮共和大学シティライフ学部 須賀末樹

私は、ユースさんのおかげで楽しい大学生活を送ることができてます。他にはない、初対面でも家族のようにみんなが仲良くなれるイベント。ちっぽけな悩みから大きな悩み事まで、耳を傾け、一緒に考えて意見をくださるメンバーの皆さん。ユースさんから得た物は私の人生にとって偉大なものです。ありがとうございます。



「東京で広がる地元の輪」
ことり食堂 店主 中里希

東京で暮らしながら、地元の素敵な人達と知り合える機会をつくってくださることに感謝しかありません。イベントにケータリングするたび、参加者全員のことを考えられている場だなぁと安心します。居心地の良さは、縁の下で汗をかいている人達の努力の賜物。ここへ集まってくる人達と、これから色々なことをしていきたいです。



「ネットワークから
地域システム構築への期待」
栃木銀行 法人営業部 地域創生室 主任調査役
根本寛行さん

私は、現在の創業支援の仕事につき貴団体との関わりをきっかけに、恩送りの精神、若者の地域課題解決に力を注ぐ姿を目の当たりにし、如何に社会の狭い範囲のことしか見ていなかった事に気づかされました。これからも築きあげたネットワークを武器に、若者のチャレンジと地域課題に伴走し、地域を巻き込んだ持続可能なシステム構築をお願い致します。



「栃木に帰る
きっかけを与えてくれた場所」
専修大学 経営学部 池田陽平さん

学生時代、将来のことを考え始めたとき、東京のイベントでユースさんに出会いました。イベントを通じて、栃木をより良くしたいこうと活動されている方々とつながることができました。それから自分の中でビジョンが定まり、栃木で就職することにしました。地元の魅力を再発見でき、帰るきっかけを与えて下さり、感謝しています。



「もう1人の先生」
宇都宮大学地域デザイン科学部 田代風



宇都宮大学が実施するインターンシップに参加し、ユースと出会いました。本気で地域と向き合いながらも楽しそうなユースの人々。大学でまちづくりについて学ぶ私にとって、ユースで過ごす時間は多くの知識や気づきを与えてくれるもう1人の先生のような大切な存在です。



「地域の星」
光琳寺住職 井上広法さん

あらゆる変化が加速している現代社会においてユースは希望の光です。困難なチャレンジを果敢に続けていく情熱、地域のひとびとの視点を保ちながら時代を切り開いていく視座の高さ、課題をスピーディーに察知し、具体的なアクションに素早く落とし込む行動力、これらを備えているチームとともにいることは私の誇りです。



「二歩先を描き、半歩先を歩む。」
宇都宮大学地域デザイン学部准教授 石井大一郎

ユースに集うみなさんと語り合うと、栃木や日本の二歩先の未来が見えてくるような気がします。そして事業は、誰もが関わりやすい半歩先のフィールド。毎年、私たちの学部が、そうしたユースさんのフィールドに大勢挑戦しています。そこでは、大学の授業では気づけなかった自分の内なる声に気がついたり、世代や立場を超えた実践的な対話の力、プロジェクトの進め方などを身につけているようです。肩の力を抜いてユースのメンバーと一緒に地域に出かけよう!! ユースさんは大学の大切なパートナー。引き続き応援しています。



「地域と若者の架け橋」
ユースサポーターズネットワーク
NPO 法人いちかい子育てネット羽ばたき
永島朋子さん

現在地域の抱える課題や問題は山積しています。そんな課題を吸い上げ、若者自身の自己実現を叶える手助けをしてくれるところが、ユースではないでしょうか。ユースに関わる人すべてに寄り添い、マネジメントを行う。私も学ばせていただくことばかりです。頑張る人の「やりたい」を多角的にサポートしてくれる強い味方ですね!

- 支援者・賛助団体企業 -



「想いをカタチにする方法があります」というキャッチコピーのもと、プラスチック製品設計、プラスチック金型の設計・製作を行っています。



障がい福祉サービスを通じて、精神に障がいを持つ人に対し地域で安心して暮らしていくための支援をしています。



問題を解くだけでなく、本を“多読多聴”する勉強法で、異文化を知らながら学習できる英語塾。



ディスプレイや空間デザインを通じて、驚き・感動・満足を提供。「人」と「企業」を円滑に結び付け、社会に貢献します。



「ゴミ（やっかいもの）を宝（堆肥）に転換し、喜び（農産物）として循環する」をスローガンに、生ごみを堆肥化する事業などを展開。



幼児教育の専門家が集まり、常に「子どもにとって真に必要な教育とは何か」をモットーに企業や病院内に保育園を普及させる事業などを全国的に展開。



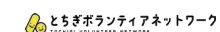
薬物依存症者とその家族に対して、地域に根ざした回復支援事業を行うと共に、すべての人々が健やかに暮らせる地域になるよう活動しています。



こころの問題にどう対処したら良いかゆっくりお話をうかがい、お一人お一人の患者様にとってもっと良い適切な治療を御一緒に考えてまいります。



障がい者や高齢者の働く機会を作り出す「協同労働」の考えをベースに、それぞれが働きやすい環境を生み出す協同チーム。



栃木県内に住む人の自発的な社会活動を促進するため、困窮者支援、フードバンク活動、災害・復興支援、NPO・ボランティア活動の支援などを行っています。



宇都宮を拠点にパッケージデザインなどデザイン全般を手掛けているデザインオフィス。

-IDEA▶NEXT 2020 協賛・寄付-



参加者 5,571 人／協力者数 426 人

総活動時間 19,977 時間



aret にお引越し

新しい空間。

人づくり、まちづくりの拠点として、いろんな人の想いと行動が重なる空間。



これからの社会を共に生きて、新しい「いいね」を創る。

aretとは
とちぎユースサポーターズネットワークの「チャレンジャーが日常的に集い、広がり、高めあえる空間が欲しい」という想いと、光琳寺住職井上広法氏の「これからの社会を考えたお寺の新たな役割を担いたい」という想いが重なり生まれた地域の拠点。コワーキングスペース、シェアオフィス、イベントスペースとして利用できる。

aret × NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク

よりよい未来づくりに挑む挑戦者と新たな力に期待する住民や組織が重なりあう地域の玄関であり、そのコーディネートとしての役割を担う⇒若者の挑戦をより一層展開するための後押し⇒ aret 周辺が、挑戦者が集い、必要とされ、支え合うエリアへ。

コワーキングスペース・シェアオフィス

- 挑戦者が集い、高め合う場 -



日々の学習や会議などに最適な一時利用のドロップイン、月額で固定の机を借りて作業するための空間。用途を選ばない空間にするために、どんな色にも染められる拡張性の高い空間設計に配慮。様々なプレイヤーが集い、互いに関わりあうことで生まれる多様な出会いを支え、挑戦意欲を育てる。



イベントスペース

- “違い” が反応し創造が生まれ支える場 -



月一映画会

読書会

イベントを通して人と人とがつながり合う。フラットに出会える場所だからこそ、今日も新しい何かがある。社会的挑戦のアイデアがありながら一歩踏み出せずにいる人を刺激する。aret は、挑戦する、人が近くにいることで、自分もする、化される環境、実現したかった想い、やりたかったこと。そんな小さな想いを、aret で一緒に創り上げてみませんか。

ファンドレイズの取り組み

古本で若者のチャレンジを支える寄付のしくみ「ホン de チャレンジ」。読み終えた本が寄付になり、若者の社会を良くするアクションをサポート。ご自宅や職場で不要になった書籍や CD、DVD を株式会社バリューブックスが買い取りの相当額が当会に寄付されるファンドレイジングプログラムいただいた寄付金については全額「iDEA→NEXT (アイデアネクスト)」の運営資金・受賞者への活動支援金などに活用。

※株式会社バリューブックス協働事業



2019 年度寄付／これまでの総計

本を寄付してくださった方 19 名／449 名

寄付冊数 1,678 冊／44,201 冊

総額 48,828 円／943,089 円

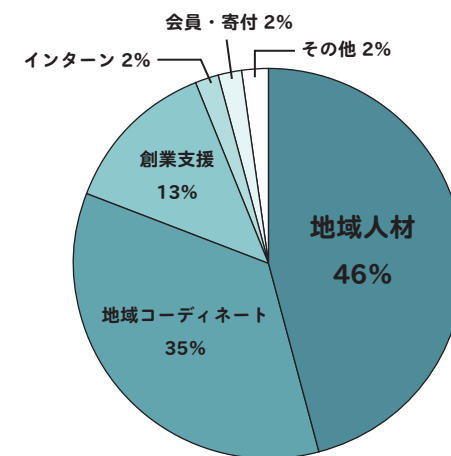
会計報告

全体収支

収入 27,116,898 円

支出 25,826,494 円

部門別収益構成



団体概要

スタッフ体制：常勤 4 名 非常勤 2 名 運営会員（個人）36 名

賛助会員（個人）20 名 賛助会員（団体・企業）11 社

チャレンジ会員 72 名（2019/04/01 現在）

理事 / 役員：

代表理事	岩井 俊宗	（NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房 理事）
副代表	塚本 竜也	（NPO 法人トチギ環境未来基地 代表理事）
理事	大塚 雅斗	（株式会社キッズコーポレーション 代表取締役）
理事	小久保 行雄	（有限会社ドンカメ 代表取締役）
理事	中野 謙作	（一般社団法人栃木県若年者支援機構 理事長）
理事	古河 大輔	（一般社団法人カゼトツチ 代表理事）
理事	金井 光一	（NPO 法人チャレンジド・コミュニティ 代表理事）
理事	清嶋 磨利夫	（株式会社キップルネットワーク 代表取締役）
理事	野崎 千晶	（株式会社ワークエントリー 栃木事業部宇都宮営業所所長）
監事	安藤 正知	（宇都宮市まちづくりセンター センター長）

所在地 栃木県宇都宮市西原 1 丁目 3-4

Tel 028-612-1575 Fax 028-612-1585

E-mail ysn_office@tochigi-ysn.net

設立 任意団体：2008 年 7 月 1 日／法人化：2010 年 4 月 1 日